



Hokkaido Steiner School
IZUMI NO GAKKO



北海道シュタイナー学園
いずみの高等専修学校
国際教養学科

北海道シュタイナー学園いずみの高等専修学校は、シュタイナー教育の方法で行われる授業を専門的に受講する専修学校です。修業年限は3年で、大学進学資格付与校として、卒業後には大学等への進学が可能です。

シュタイナー学校は世界に1000校以上存在していますが、それら外国のシュタイナー学校との交流も持ちながら、国際的な感覚を本校では養っていきます。

学校の教育目標

- ・真善美の感覚を基に、自己を信頼し、世界に繋がり働きかけていく意志と力を持つ人間を育てる。
- ・困難な状況にあっても、世界や他者と自分とに備わる善き力を信頼し、自分の自由な行為がそのまま世界の為になるような生き方ができる礎を築く。
- ・他者の価値観や意思を大切に、世界のことを自分のこととして捉え、真の平和を実現するコスモポリタン（地球市民）を育てる。

教育方針

- ・教育目標を達成すべく、シュタイナー教育後期中等教育カリキュラムを必須としながら、時代や地域に即した教育内容を提供する。
- ・特定の分野に特化することなく、人間のあらゆる活動に関心が持てるよう、全人教育に努める。
- ・国内および世界各地のシュタイナー学校と積極的に交流する機会を設け、世界人としての感覚を肌で身につけられるようにする。

思考的、芸術的、活動的な学びをバランスよく配置

カリキュラム

教科・実習・行事を通じてさまざまな分野を学べるのが本校の特徴です。本校では「全人格的な学びが出来る」ことを目指しているからです。

その方法として最も大切にしているのが、メインレッスン(ML)です。MLは基本的に3週間という期間、集中して教科(単元)を学ぶ授業のことです。一日の中で最も集中して思考力・理解力・洞察力が働くとされる午前の最初の2時間が割り当てられています。

年間カリキュラムでは、思考的、芸術的、活動的な学びをバランスよく配置しています。また一日の時間割の中でも、感じる、集中する、議論する、活動する、呼吸するように午前と午後の授業が組み立てられています。

時程は6時間授業として、週単位時間とMLを合わせると、大学受験にも補習を含めて対応できるものとなっています。このような考えで編成されたカリキュラムのキーワードとしては、年代にフィットした「シュタイナー教育」を基軸に、こどもの園・初・中等部との「関連」「継続」、生徒との「共感」、オーソドックスな「芸術性」、真の「自由」、地域を生かした「経済性」、学びへの「肯定感」、「健康」「安全」などが留意していることとして挙げられます。

なお、本校では一貫教育を意識し、また国際的な視野に立ち、海外でも通用する10・11・12年生という学年の表記、言い方をしています。



各学年に特徴的な実習・活動等

1年生(10年生)

社会実習：人と共に生活するとはどのようなことかを考えていく一助とします。そのため、学校外にある共同体に協力をいただき、そこでの生活を、クラスを中心とするグループ単位で1週間ほど体験します。11年生で行う職業実習の前に、「働くこと」の本質を感じてもらおう機会として、農業、食品加工、サービス業が一度に体験できる場所での実習となります。

2年生(11年生)

職業実習：今後の人生を生徒がそれぞれ考えていく上で参考となるような体験を、仕事の現場で得ることを目的として、2週間程度の期間行います。個人個人が興味のある分野を特定し、受け入れ先となる事業所に各自連絡を取りつつ進めていきます。

3年生(12年生)

修学旅行：国外のシュタイナー学校を基本として、同世代の青年たちと交流しながら、世界人としての感覚が持てるようにします。また、自ら旅程と学習目標を立ててよその土地を訪れ、成果を発表することで、自立心を育成します。

プロジェクト発表：卒業論文・卒業制作に相当する3年間の学びの集大成として位置付けています。各自が設定したテーマに従って、学問的・芸術的その他の論考や作品を仕上げ、外部の人たちを招いて発表します。これにより、自立した「個」としての感覚と、今後、何かを自分で成し遂げていくための自信を培います。

卒業演劇：総合芸術である演劇を、脚本の選定もしくは作成から、上演まで体験します。演出も自ら考えていくことで、演技とは何かを学び、空間的・時間的な芸術的感覚を養います。更に、照明器具等の使い方にも慣れ、集団で一つの物を作っていく社会的な感覚を養います。

留学制度

10年生の半ばから11年生の時期に数名の生徒を対象に英語圏を中心とした海外のシュタイナー学校と3か月の交換留学を実施しています。留学期間中の授業は、留学先の授業に置き換えられたものとみなし、単位認定されます。オーストラリア・ニュージーランド・カナダ・韓国・台湾・アメリカ合衆国・フランス等、さまざまな地域と交換留学できることが本校の魅力の一つです。なお、寮生は交換留学の対象とはなりません。私費留学が可能です。

10年生時間割（例）

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
朝の会・活動 8:45～9:05	運動		運動		高等部集会
①メインレッスン 9:05～10:45	メインレッスン				
10:45～11:05	中休み				
②11:05～11:50	理科	情報	国語	社会／理科	数学
③11:55～12:40	英語	数学	HR	オイリュトミー	英語
12:40～13:35	昼休み				
④13:35～14:20	工芸	英語	社会	農業	体育
⑤14:25～15:10		合唱	音楽		
掃除・帰りの会 15:15～15:30					
⑥15:15～16:00					



シュタイナー学校独自の教科で、社会性を養う働きを持つとともに舞台芸術でもあります。発表の機会として毎年秋に「オイリュトミーの夕べ」が行われます。



社会実習



2週間にわたる社会実習・職業実習によって、体験的な学びをじっくりと行い、現在の自分を捉えなおし、将来への足掛かりとします。



交換留学

留学希望者は海外のシュタイナー学校と3か月間の交換留学ができます。世界中に存在するシュタイナー学校の強みです。



約2週間、スイスで行われる世界のシュタイナー学校の交流会に参加したり、イタリアの古跡などを訪ね学んできたことの確認をしたりして、世界の中での自分について考えます。(国内旅行の場合も有り)

修学旅行



北海道の雄大な自然を四季を通し、体験します。山岳部に劣らない知識や経験が身につきます。3学年時には大雪山を1週間かけて縦走します。

雪洞キャンプ



集団での学びの集大成として、総合芸術である演劇を3学年時に舞台発表します。

卒業演劇



卒業プロジェクト

卒業論文や卒業制作に相当する個人の学びの集大成です。3学年時に、自分で選んだテーマについて調べたり、制作したりしたことを発表します。



入学までの流れ

<出願対象者>

- A. 特別推薦入学選考
- B. シュタイナー学校・教育機関 推薦入学選考
- C. 一般入学選考
- D. シュタイナー学校・教育機関入学選考2次募集

	新 入 生	編 入 生
生徒区分	現在、中学校3年生または中学卒業後、高校に入学したことがない生徒	・現在、他の高校に在学の方 (長期欠席中や休学中の方も含まず) ・他の高校に入学後、退学した方
選考区分	A・B・C・D	B・C
出願書類	◇入学願書 ◇調査書 ◇自己推薦書 ◇入寮選考書(必要に応じ)	◇入学願書 ◇成績・単位修得証明書 ◇自己推薦書 ◇入寮選考書(必要に応じ)

step
01

学校見学及び入学説明会の
参加・シュタイナー教育紹介動画の視聴

step
02

入学願書等の一式購入・出願

step
03

書類審査・体験入学・面接・作文
(*一般入学選考の場合は、国語・算数・英語の学力検査)

step
04

合意通知書・誓約書・入学金納入案内等

step
05

入学金以外の学費納入案内
(授業料・施設設備費・暖房費等)その他手続き

授業料・諸経費

項目	月等	金額	備考
授業料	月額	49,000円	授業料+施設設備費+暖房費 696,000円(年額)
施設設備費	月額	6,000円	
暖房費	月額	3,000円	
入学金	一時金	250,000円 (内部進学 50,000円)	誓約書を提出する頃振込
教材費	その都度		必要に応じて徴収 文具等(教材)、郊外での学習費

いずみ寮

【所在地】

北海道虻田郡豊浦町字船見町57番地
(須藤建設(株)豊浦支店1Fの一部、および2F)

【部屋数】

男子寮・女子寮
1F・2F 各3部屋(1人部屋・2人部屋)
定員10名

【アクセス】

- ・JR豊浦駅より徒歩約10分
- ・本校より徒歩約20分

【居室設備】

☆ベッド ☆机 ☆椅子 ☆暖房 ☆棚

【共用設備】

☆キッチン・ダイニング ☆ラウンジ
☆トイレ ☆温水シャワー(2F)
☆お風呂 ☆洗面所(1F・2F) ☆洗濯機

【寮費】

寮費(月額)45,000円

※1:平日は3食付き(昼食は弁当)ただし、土日祝祭日は自炊



- 1999年10月 シュタイナースクールいずみの学校全日制（本校の前身）開校（伊達市関内町）
- 2001年12月 「特定非営利活動法人ひびきの村」として認可 伊達市松ヶ枝町に移転
- 2002年4月 シュタイナースクールいずみの学校高等部設置（伊達市舟岡町 旧大村裕子宅）
- 2003年4月 「特定非営利活動法人シュタイナースクールいずみの学校」と法人名を改める
高等部を伊達市松ヶ枝町に移転
- 2004年 伊達市松ヶ枝町企業団地内の別借地に西校舎建設 移転（6年生以上）
- 2005年 伊達市末永町の旧会社寮改修後、高等部末永校舎として移転
- 2006年 改造改革特別区域計画「豊浦『自然と芸術』教育特区」認定
- 2008年 「学校法人北海道シュタイナー学園」設立 豊浦町に移転
「北海道シュタイナー学園いずみの学校 初等部・中等部」開校
- 2009年 校名を「北海道シュタイナー高等学園いずみの学校」に変更
- 2010年 豊浦町字船見町に学生寮「いずみ寮」を開設
- 2019年 シュタイナー教育100周年事業 特定非営利活動法人20周年事業
- 2023年11月 「学校法人北海道シュタイナー学園 北海道シュタイナー学園いずみの高等専修学校」認可
- 2024年4月 「学校法人北海道シュタイナー学園 北海道シュタイナー学園いずみの高等専修学校」開校



学校法人北海道シュタイナー学園
北海道シュタイナー学園いずみの高等専修学校 国際教養学科



〒049-5411 北海道虻田郡豊浦町字東雲町 83-2

Tel: 0142-83-3878 Mail: info@hokkaido-steiner.org

HP: hokkaido-steiner.org